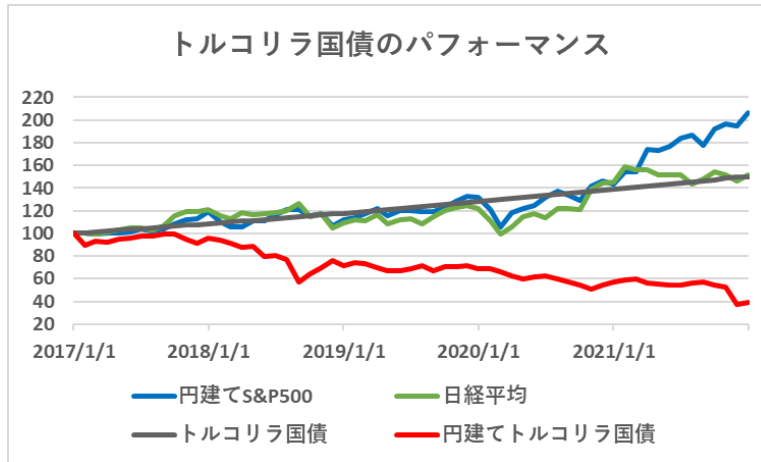


ATTENTION

今年は投資で大きなけがをしないようにしましょう！



これまでトルコ債に投資していたら、現在大変なことになります。たとえば5年前にトルコ国債のゼロクーポン債に投資していたら、500万円がおおよそ190万円になっています！2017年初、日本のゼロ金利で、高利回りを取れる新興国通貨、たとえばブラジルレアル、南アフリカランド、トルコリラの債券が、マネー誌などで盛んに取り上げられ、個人投資家はずいぶん買いました。トルコ国債の5年物は、2017年初め8.5%程度の利回りで、ゼロクーポン債であれば元本の66%程度で買え、5年後には外貨で100%返ってくると盛んに宣伝されました。まして国債だから大丈夫というのです。ところがここで抜けているのが為替。トルコリラは5年前の当時33円。それが今なんと8.7円です！元本が50%増えても、為替で7割以上やられ、500万円投資していたら、6割以上の損で190万円。高齢者がたくさん買ったようで、国民生活センターには苦情がたくさん来ているとのこと。儲かるのは証券会社。債券の売出価格でもかなり鞆を取っているでしょうが、さらに為替で、例えばHS証券はキャンペーンと称しても片道0.75円。これは現在の為替レートで8.6%の手数料に当たります。往復で17%！マスコミは、販売する証券会社が広告主なのか、この問題を不思議と取り上げません。ちなみに、この間日本株に投資していれば50%増え、米国株に投資していれば2倍以上に上がっているのです。

OPINION

不祥事を行った会社はCMに出るな！

最近テレビのCMを見ていると、ほとぼりが冷めたと判断したのか、CMを出す不祥事、不正を行った会社が後を絶ちません。15年ほど前に粉飾決算事件を起こして投資家に多大の損害を与え、企業イメージが地に堕ちた石川島播磨重工。社名を変えて、IHIとしていますが、最近盛んに出しているCMは、IHIが日本の基礎を支えるものを何でも作っているいい会社という振れこみです。そしてあの商工中金。政府の融資予算枠をこなさない今後の融資枠を取れないという役人発想で、ろくに審査もしないでいらない融資を中小企業に押し付けたという大変な不祥事です。この不祥事が発覚した当時、その不正の悪質さから廃業まで議論が及んだのですが、管轄の経済産業省が、事務次官の天下り先を死守するためか、常套手段でうやむやにしていきました。その商工中金が、中小企業を支える縁の下の力持ちというようなイメージで、コマーシャルや新聞広告に最近盛んに登場して来るのです。そもそもほとぼり冷めたら、前と変わらずなんでもできるとする発想自体が、大きな疑問符です。4000棟以上の不適合住宅を作ったり、長年にわたり国家資格を不正取得したりしていたダイワハウスは、いまではCMトップ企業のような露出ぶりです。不祥事を起こしても「人のうわさも75日」体質はいただけません。TV局や新聞は収益優先でなく、もう少し公序良俗を考えて、CM企業を選定する必要があります。また我々視聴者・読者がこういった不祥事・不正を行った企業は末永く忘れずに、厳しい目を向けておくことが不可欠です。

MARKET

	(12月末)	(11月末比)
日経平均	28,791.71円	+969.95円 (+3.49%)
NYダウ	36,338.30ドル	+1,854.58ドル (+5.38%)
米ドル	115.15円	+1.95円 (+1.72%)

私の書棚より

教(おし)えるは学ぶの半ばなり。
(書経・説命下)

-教えることの半分は自分が学ぶことである。

年齢を取ればとるほどよくなるものがある。それは“脳”

新年に当たり、大変前向きになれるお話を紹介しましょう。米国の著作「Hard Wired to Learn(いくつになっても学び続ける)から。

1. 脳の神経科学は、学ぶことには限界がなく、いくつになっても学べることを明らかにした。

脳は約860億の神経細胞が何百兆もの結節(シナプス)でつながっている。そして神経科学は、脳が新しい細胞とそれらをつなぐ新しい結合を、神経可塑性と呼ばれるプロセスで、生涯にわたって作り出すことを明らかにした。年齢をとって初めての楽器の演奏や未知の言語の習得は、新しい神経経路を作り、アルツハイマー症になる確率を減らす。さらに高齢者の脳は、若い人の脳より、複雑な問題解決や情報の統合に向いている。

2. 努力して学ぶ。

努力して学べば、そのゴールを必ず達成できることを信じよう。本能的に学びたいと好奇心を持って、変わることにオープンで、なんでも質問する、学んだことを実践する、そしてそれを教えてあげる。こうすることで脳の結節が深くなり、学びを確かにし、記憶に埋め込まれる。

3. 学ぶ能力を害する5つのカテゴリーに気をつける

第一に、単純化したい気持ちを抑える。日常は複雑だから、考えるときはよく考える。第二に、あなたに都合のいい情報を無意識に探す傾向を知っておく。そういう時、わざと反対の考え方を探すのだ。第三に、誰もがいい関係でいたい気持ちを持つので、もっとも受け入れられ

やすい考えに行きがちになるが、そういうとき、いや違うというように、反対に自律して考える。第四に、これまでのやり方にこだわらず、変化や新しい視点を受け入れる。最後に、強い自我や自己の存在感が、都合悪いあるいは挑戦的な考えを受け入れない。これを知って、反対意見や学びを排除しない。

4. 本当に学ぼうとするのは大変だが、進歩の度合いを測り、やめないで続ける。

もう知っていると思わず、自分がいまま進歩中と思うことも大事。そして時々、これまで学んだことを結び付けたり、一貫性を持たせたりして、長期目標への進歩具合を測るのだ。優しいことや知っていることより、むずかしいことを学ぼうとすると、脳活動は活発になる。本当の勉強は不愉快にもする。優しくはない。難路を覚悟し、決してやめないでじっくりと臨む。

5. 精神の均衡を保つため、心身の健康に気をつける。

心理状態と体の健康は密接につながっている。年齢を取ると、脳は使わない結節はなくして、使うべき神経の結節や経路がフルに発達する。そして運動、ダイエット、睡眠は結節の減少を抑え、むしろ増やしもする。健康に気をつければ、脳も健康でいられる、その逆も言える。ヨガ、瞑想、呼吸を含め、精神の安定に心がけ、学んでいる間も時々休息し、学んだことを整理し新たな発想が出てくるように仕向ける。

新年に当たり希望が湧いてきそうなお話です。

まかせて安心、資産運用のホームドクター

- 大切なお金を間違いない方法で運用しているのか、心配になることはありませんか。
- 退職後のセカンドライフを、お金の心配なく、ゆとりを持ってお過ごしですか。
- 仕事が忙しくて、なかなか運用まで手が回らないということはありませんか。
- 銀行や証券会社が勧めるままに、株や投資信託を購入していませんか。

金融商品の中身や手数料がどうなっているか、きちんと把握していますか。

びとうファイナンシャルサービスは、金融機関から完全独立のFP・資産運用アドバイザーです。その強みを生かし、お客様に、客観的で、公正・中立なアドバイスを提供しています。手数料が高く売りやすい商品をお客様に売っていただくのではなく、お客様にもっとも適した金融商品やお客様にベストのアドバイスを提供しています。

びとうファイナンシャルサービスは、お客様の目標や夢の実現のため、40年を超える長い経験と深い専門知識、高い倫理観をもとに、お客様の利益のみに目を向けたサービスを提供しています。たとえるなら、多くのお客様の人生という航海で、無事に目的地に到着する大型客船であり、いつもお客様の資産運用という面で健康管理をするホームドクターです。



びとうファイナンシャルサービス
代表 尾藤 峰男
公認投資助言者(RIA)

びとうファイナンシャルサービス 公式HP

<http://www.bfsc.jp>

あなたの資産運用を成功に導くメルマガ！

お申し込みは <http://www.bfsc.jp/mailmagazine/>

発行者：びとうファイナンシャルサービス
代表取締役 尾藤峰男

電話：03-6721-8386
携帯：070-5567-3311 電子メール：info@bfsc.jp